

愛媛を代表する観光地、道後温泉が元気だ。

日本最古の温泉の一つとしても知られる愛媛県松山市の道後温泉。温泉街のシンボルで、国の重要文化財でもある築120余年の道後温泉本館を中心にホテルや旅館、土産店などが立ち並び、国内はもちろん海外からの観光客も多い。

松山市によると、道後温泉の宿泊客数は2015年、90万人台に15年ぶりで回復、17年は旅館・ホテルの耐震改修工事の影響などで90万人をわずかに切ったものの、大手旅行サイトでは女性の一人旅に人気の温泉地として4年連続で1位を獲得するなど勢いは健在だ。

去年は道後温泉の新しい外湯として「道後温泉別館 飛鳥乃湯泉（あすかのゆ）」がオープン。聖徳太子の来浴伝説にちなんだ飛鳥時代の建築様式を取り入れた外観と、砥部焼や今治タオルなど愛媛の工芸品を活用した室内装飾などが特徴で、道後の新たなスポットとなっている。

温泉とアートを融合した「道後オンセアート」も開催中。「アートにのぼせろ」を合言葉に、道後のまちや旅館・ホテルに現代美術家の絵画や写真、オブジェなどが数多く展示されており、観光客を楽しませてくれている。

そんな中、松山市は来年1月15日から道後温泉本館の耐震改修工事を始めると発表した。市の説明では、7年間の工事期間中、一部で利用制限はあるが、営業は続けるので入浴は可能。一方で修繕工事の観光資源化も計画されており、明治時代の建築当時の出入り口の活用だったり、見学会が行われたりと、修繕期間中だけの貴重な体験もできそうだ。

道後温泉本館は修繕中も元気に営業を続ける。この間、道後のまちはどのように観光客を楽しませてくれるのか、皆さんの目で確かめてほしい。そして伝えてほしい。「道後温泉は元気だよ」と。

愛媛新聞社営業局 営業開発部 副部長 森川淑夫



日本最古の温泉の一つとして知られる道後温泉。来年1月15日から本館の耐震改修工事が始まる。